

平成25年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	14979 高齢者見守り隊活動支援事業			
基本政策	01 とともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち（健康・子育て・福祉）			
政策	05 いきいきと暮らせる高齢者福祉の充実			
施策	02 高齢者福祉サービスの充実			
実施形態	全部委託			
事業期間	単年度	平成24年度～		
要求区分	継続	予算区分	標準	
事業の実施を市に義務づける国の法令				
有 無	「できる」規定あり			
法令名	介護保険法第115条の45第2項第3号			
条 項	地域支援事業実施要綱（H25.5.15 老発第0515号 第2号）			
予算科目	10-050206-011100			
部 名	03 福祉生活部	課 名	03 長寿福祉課	
課長名	門脇 ちづ子	T E L		内 線

2. 対象・目的・内容

事業概要	<p>自治会等で組織する高齢者見守り隊による定期的な安否確認や地域での住民交流事業等を実施し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする。</p> <p>何らかの異変や相談があった場合には、地区担当の民生委員と連携し、必要に応じて地域包括支援センターへ通報する。</p> <p>※委託事業</p>
事業の対象 (誰・何を)	市内に居住する概ね65歳以上の高齢者で、見守りが必要な要援護者
事業の目的 (どういう状態にするために)	近隣協力体制の構築により、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	<p>自治会等で組織する高齢者見守り隊による週1回程度の対象高齢者宅への安否確認訪問や地域での住民と高齢者との交流事業等の実施。</p> <p>見守りの活動の中で、何らかの異変や相談があった場合は、地区担当の民生委員と連携し、必要に応じて地域包括支援センターへ通報する。</p> <p>※委託事業</p>

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成22年度決算額	0	-	-	-	-	-	-	
平成23年度決算額	0	-	-	-	-	-	-	
平成24年度決算額	146	57	29	0	0	31	29	
平成25年度予算額	500	197	99	0	0	105	99	

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成24年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成24年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.02	0.00	0.02	156	146	302
事業費の主な用途		委託料			

平成25年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指 標 名	委託件数				単 位	件
	説 明 や 数 式	高齢者見守り隊への委託契約件数					
	年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目 標 値		10	10	10		
	実 績 値		3				
	経 費 (千円) 単位当たりのコスト		302		100.67		
活動 指標 ②	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経 費 (千円) 単位当たりのコスト						
成 果 指 標 ①	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経 費 (千円) 単位当たりのコスト						
成 果 指 標 ②	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経 費 (千円) 単位当たりのコスト						
実績・成果 等の説明	<p>自治会で組織する高齢者見守り隊に事業委託しているため、活動指標を委託件数とした。 実績値が目標値を下回っているが、市と委託契約せずに独自で見守り活動をしている自治会もあるため、実際の活動数と実績値は同じではない。目標値の考え方としては、市との契約が無くても自主的な活動をしている自治会がある一方で、地域での高齢者の見守り活動が定着していない地域も多数あるのが実情であり、委託事業として活動費支援をすることで市内全体に見守り活動を広めていくための目標値として10組を設定している。</p>						

6. 評価

1 次 評 価	評 価 ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	4	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
	事業の 総合評価	継続実施					
説 明	年々高齢化が進んでいく中で、地域での高齢者の見守りの重要性は今後ますます重要になってくるため、市内全体に見守り活動への取組みを広げ、定着させるための仕組みづくりとして事業継続が必要と考える。						
2 次 評 価	評 価 ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	3	実施主体の妥当性	2
		直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
	事業の 総合評価	改善・見直し					
説 明	<p>高齢化が進む中、地域での高齢者見守り活動を定着させることは急務である。委託金額は5万円を上限としており、見守り隊の立ち上げや初期活動における備品購入等の資金として妥当であると考え。しかし、委託契約なしで自主的に見守り活動をされている自治会とは公平性を欠くものであり、委託が同一町に偏らないように、期限や回数の制限を設けるべきである。また、実施内容から判断すると委託よりも補助の方が適当だと思われるので、変更の検討を願いたい。将来的に、見守り活動が定着したと判断できれば事業の休止・廃止を検討されたい。</p>						